

第4回 EST普及推進フォーラム実施概要

EST(Environmentally Sustainable Transport:環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、ESTの取り組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第4回 EST普及推進フォーラム」を開催した。また、「第2回 EST交通環境大賞※」の表彰を本フォーラムの中で行った。基調講演で交通基本法と環境負荷の少ないまちづくりについて学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて「利用者」の視点に立ったESTのあり方を検討した。

当日は、EST・交通環境対策について関心を持つ方々を中心に145名が参加した。当日の表彰式の模様は、平成23年2月8日にテレビ愛媛のニュースで取り上げられたほか、平成23年2月21日の交通新聞や平成23年1月の愛媛新聞で記事として掲載された。

※地域の交通環境対策に関する取り組み事例を発掘し、優れた取り組みの功績や努力を表彰するとともに、その取り組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が平成21年度に創設した表彰制度。

日 時:平成23年2月7日(月) 13:30~17:00

会 場:スクワール麹町「錦華」(東京都千代田区麹町6-6)

主 催:EST普及推進委員会、交通エコロジー・モビリティ財団

後 援:国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、
社団法人日本民営鉄道協会、社団法人日本バス協会



←開催風景

広報チラシ→



「第4回 EST普及推進フォーラム」開催ご案内
- 「利用者目線」の環境・交通まちづくりを目指して -



【写真】左上:オープンバス(京都市内)、右上:コトニノバス(京都市内)、左下:横濱市営バス(横浜市)、右下:東山バス(名古屋市)

EST (Environmentally Sustainable Transport: 環境的に持続可能な交通) の普及促進を図るため、ESTの取り組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第4回 EST普及推進フォーラム」を開催します。

また、「第2回 EST交通環境大賞」の表彰を本フォーラムの中で行います。

基調講演で交通基本法と環境負荷の少ないまちづくりについて学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて「利用者」の視点に立ったESTのあり方を検討します。

EST・交通環境対策の最新情報を入手し、優良事例を共有した上で、現状の課題を検討する絶好の機会となりますので、皆様の参加をお待ち申し上げます。

※ 地域の交通環境対策に関する取り組み事例を発掘し、優れた取り組みの功績や努力を表彰するとともに、その取り組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が平成21年度に創設した表彰制度。

日 時 : 平成23年2月7日(月) 13:30~17:00
(13:00 受付開始)

会 場 : スクワール麹町3階「錦華」
〒102-0083 千代田区麹町6-6

主 催 : EST普及推進委員会、交通エコロジー・モビリティ財団

後 援 : 国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、
社団法人日本バス協会、社団法人日本民営鉄道協会



環境的に持続可能な交通

Environmentally Sustainable Transport

開会挨拶・表彰式

国土交通省、環境省、交通エコロジー・モビリティ財団からの開会挨拶のあと、第2回 EST交通環境大賞の表彰式を行った。表彰式では、EST普及推進委員会 太田委員長から各賞授与 及び 審査講評が行われた。

○開会挨拶

瀧口 敬二 国土交通省総合政策局 次長
山本 昌宏 環境省水・大気環境局 自動車環境対策課長
与田 俊和 交通エコロジー・モビリティ財団 理事長

○表彰式

太田 勝敏 東洋大学国際地域学部 教授
【大賞】松山市
【優秀賞】帯広駅モビリティ・センター運営協議会、
【優秀賞】大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会、
大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会
【奨励賞】横浜カーフリーデー実行委員会、
【奨励賞】金沢大学、北陸鉄道株式会社、金沢市



基調講演・受賞講演

表彰式に続き、基調講演が行われ、休憩の後、第2回 EST交通環境大賞の受賞団体から受賞講演が行われた。

○基調講演

「交通基本法と環境負荷の少ないまちづくり」

石田 東生 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授

○受賞講演

「松山市におけるESTの取組み － まつやまエコ交通チャレンジ！ －」

遠藤敬二郎 松山市都市整備部総合交通課 主査

「大丸有地区等におけるグリーン物流と環境交通の総合的な取り組み」

折原 清 大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会、
大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会 事務局長



パネルディスカッション 「『利用者目線』の環境・交通まちづくりを目指して」

コーディネーター: 太田 勝敏 東洋大学国際地域学部 教授

パネリスト: 石田 東生 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授

原 文宏 帯広駅モビリティ・センター運営協議会
(社団法人北海道開発技術センター理事)

大内 えりか 横浜カーフリーデー実行委員長

松本 季之 金沢市都市政策局交通政策部交通政策課課長補佐

加藤 久喜 国土交通省総合政策局環境政策課長

山本 昌宏 環境省 水・大気環境局自動車環境対策課長

【概要】

近年、地球温暖化問題の深刻化、少子高齢化・人口減少など交通をめぐる状況の変化にあわせて、交通基本法の制定に向けて、検討が進められている。交通基本法の子なテーマの一つとして、「『利用者目線・国民目線』への視点への転換」があげられている。これは、交通基本法案の基本的な論点(案)では、「人やモノの移動という機能に係る交通に関する施策を、運輸事業者の区分に応じた縦割りの事業行政ではなく、それぞれの交通手段の特性を活かすことを前提とし、交通に係る各種課題に適切に対応できるよう、また、まちづくりなどの課題を受け止めつつ、総合的かつ計画的に進めること」とされている。第4回EST普及推進フォーラムで表彰した各団体の取組みは、二酸化炭素排出削減のみならず、「利用者目線」の環境・交通まちづくりの好事例と考えられる。そのため、このパネルディスカッションでは、まず、帯広駅モビリティ・センター運営協議会、横浜カーフリーデー実行委員会、金沢市の取組み内容をご発表いただき、その後、「利用者」の視点に立った環境的に持続可能な交通(EST)のあるべき姿を検討し、最後に、「利用者」の視点に立ったESTを普及推進するためには何が必要か、パネリストの各々の立場からコメントをいただいた。

